

第98回 FM 桐生番組審議会 議事録

1. 開催年月日 2023年1月17日 火曜日
2. 開催場所 桐生ガスプラザ3階会議室
3. 委員総数 8名
出席委員数 6名
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、飯野マリエ、星野尚香、小泉充、中村昌也
欠席委員の氏名 大澤善康、豊田れい子
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

4. 議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

5. 議事の概要

開会

挨拶

1. 資料配布物の確認

（次第・次回聴取番組CD 毎週金曜日 19時～19時29分 「だいほんちょう会議」）

（2023年1月6日（金）放送分）

報告事項

【新型コロナウイルス・インフルエンザについて】

- ・黒保根中継局についての説明（12/23 予備免許・1/18～試験電波発射予定）
- ・コロナウィルス第8波の感染状況、感染対策について
- ・コロナ禍によるスポンサー減で年末年始特番はなし
- ・4月からの新人パーソナリティ登用予定について

次回開催日程 2023年3月7日（火）19：00～

6. 審議内容

- ・放送日時：2022年11月1日（火）19：06～
- ・番組名：市民制作番組 ギミアブレイク「桐生は楽しい」
- ・出演者：大須賀敏江
- ・番組の内容：まだまだ知られていない桐生の魅力を発掘し、皆さんにお伝えします。
着物に関する話題や、イベントについてもご紹介していきます。
さあ、皆さん、もっともっと桐生を楽しみましょう！

（1）聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・淡々と話す感じが1時間続いたので、途中で飽きて来てしまった。
- ・以前別の番組でも指摘したが、曲紹介がなかったのが残念。どんなに有名な曲でも紹介はした方が良い。
- ・エンディングで「またお目にかかりましょう」と言っていたが、表現として適当では無いのではないか。
- ・パーソナリティの話し方が硬い感じがした。手に汗を握る様な緊張感が伝わって来た。
- ・ゲストの大川美術館館長の話は貴重だったので聞けてよかった。
- ・館長の話はわかりやすかった。
- ・後半はゲストもリラックスして話せるようになっていた。
- ・パーソナリティが詳しくないことについては、無理をせず「わからないので教えてください」という姿勢の方がゲストも話しやすく、リスナーにも伝わりやすかったのではないか。
- ・なかなか聞けない大川美術館の話が聞けて良かった。
- ・テーマを決めていくつか話を聞き出し、メリハリがあるような話し方のほうが良かったのではないか。
- ・パーソナリティも最初は慣れていない感じがしたが、後半にかけて聞き取りやすくなっていった。
- ・パーソナリティの話し方が淡々としていてインフォメーションの様だった。
- ・イベントの案内については事情通なのか聞き取りやすく分かりやすかった。
- ・パーソナリティが真剣に番組に取り組む様子は伝わった。
- ・声のトーンが低めなのでこのまま1時間この調子で話し続けるのか気になった。
- ・パーソナリティそれぞれの得意分野もあると思うので、自分が話を上手く引き出せるようなゲストを呼ぶと良いかもしれない。ゲスト選びも大切。そのほうが聞いている側もリラックスできる。
- ・合いの手を入れてくれる方がもう一人いたら良かったのかもしれない。
- ・「え〜」が多かったように感じた。
- ・事前に現地で録音したものを流す、又は写真や絵を見ながら話すなど、リスナーのイメージを膨らませることも必要だと思った。
- ・番組の最初にオペレーターも紹介して、トーク中の補足に入るなどしたら良かったかもしれない。

【回答】

- ・番組を始めて半年なのでまだ慣れていないところもあるが、まちづくりに関して非常に積極的な出演者。ご意見をいただいて、より良い番組にしたい、今回聴取番組に選定しました。
- ・分からないことは分からないなりのスタンスで聞いた方が良かったかもしれない。
- ・パーソナリティは、着物や音楽等の芸術に造詣が深く、今回は美術館にもアプローチしたのではないか。
- ・場数もあると思うので今後に期待している。

【その他】

- ・黒保根中継局について、黒保根すべてのエリアで聞くことができるのか。

【回答】

- ・住宅が集中している場所がメイン。それ以外の場所は、室内・外部アンテナを案内する。

・埼玉県入間市に同じ周波数のコミュニティ FM があり、受信に影響を受ける場所も有る。

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 事務所への備置き、自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8. その他参考事項 特になし